

授業科目	教育方法論				単位	2		
履 修	選択	関連資格	養教一種免		ナンバリング	0		
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP1-1			
担当教員	新谷 恭明							
授業概要	<p>授業は教科に関する知識があれば教えられるわけではない。そのために教育方法の理念、理論そして技法が研究されてきた。教育方法の基本的な考え、教育方法がどのように考えられてきたのかを学ぶ。そして現在それらの知見を踏まえた上で学習指導力の基本を身につける。</p> <p>今学期は、コロナウィルス対策により、当面の間遠隔授業を行う。資料などは金曜日には classroom にアップロードしておくので、各自プリントアウトして講義に臨むこと。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育方法の基本原則について説明できる。</li> <li>2. 教育方法の理念について説明できる。</li> <li>3. 授業の原理や方法を理解し、学習指導案を書くことができる。</li> <li>4. 作成した学習指導案で授業ができる</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	100	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	0		100	0	0		100	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)	0							
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
教育実践に関わる理論を修得し、諸課題に応じた学習指導案の作成や実践記録の分析を的確に行うことができる。				教育実践に関わる基礎的知識を身につけ、諸課題に応じた学習指導案の作成や実践記録の分析を行うことができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:教育の方法と技術 教育方法学の概要について解説する			講義		復習:該当部分の復習		90

2	テーマ:教育方法の基礎理論 教育方法の理論的系譜	講義	復習:該当部分の復習	90
3	テーマ:教育方法の基礎理論 新教育理論と現代	講義	復習:該当部分の復習	90
4	テーマ:現代の教育改革と教育方法(1) ゆとり教育とその限界	講義	復習:該当部分の復習	90
5	テーマ:現代の教育改革と教育方法(2) 主体的・対話的で深い学び	講義	復習:該当部分の復習	90
6	テーマ:現代の教育改革と教育方法(3) ICT教育	講義	復習:該当部分の復習	90
7	テーマ:教育評価の基礎理論	演習	復習:要点、課題の確認	
8	テーマ:授業の理論と技術	演習	指導案の準備、確認	
9	テーマ:教材研究から学習指導案へ 教材研究と学習指導案についての基本的な理解をする。	演習 討論	復習:要点、課題の確認	
10	テーマ:授業の技術 発問、対話、板書、机間巡視、評価	演習 討論	復習:要点、課題の確認	
11	テーマ:学習指導案を作ってみよう 構想-学習計画-板書計画	演習 討論	復習:要点、課題の確認	
12	テーマ:授業の技術と展開(1) 模擬授業を行う	講義	復習:該当部分の復習	
13	テーマ:授業の技術と展開(2) 実際に学習指導案がうまくいくかどうか相互に点検する。	演習 討論	復習:要点、課題の確認	90
14	テーマ:授業の技術と展開(3) 問題点を見つけ出して解決策を考える	講義	復習:該当部分の復習	90
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	理論と実践の統一的理解が必要であるため、授業や教科外教育についての客観的、分析的視点とともに主体的、協同的な学習参加が重要である。			
テキスト	テキストは特に用いない。プリント配布予定。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	平成 29 年3月改訂学習指導要領(小学校、中学校)			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	無着成恭編『山びこ学校』や斉藤喜博著『学校づくりの記』など、戦後のすぐれた実践記録をできるだけ多く読破してほしい。			
達成度評価に関するコメント	試験、提出物の内容等については、授業の中で適宜指示する。			

